

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	09-04-01	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	荒川遊園管理運営費	部課名	子育て支援部荒川遊園課	課長名	山下	担当者名	富岡
				内線	473		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	荒川遊園管理費					
	01-02-01	荒川遊園事業費					
	01-03-01	荒川遊園営繕費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	都市公園法			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	03 子育てしやすいまちの形成					
	施策	01 子育て環境の整備					
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。						
対象者等	小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者						
内容	<p>【荒川遊園の概要】 総面積50,841㎡ A地区…31,466㎡（有料地区）、B地区…5,234㎡（子どもプール）、 C地区…14,141㎡（地下駐車場）</p> <p>【事業の内容】 ①遊園地の管理運営 大型遊戯施設、小型遊具、エア遊具、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店、水あそび広場、アリスの広場 ②子どもプールの管理運営及びプール休止期間における施設の有効活用 ③都市公園の維持管理等 ④子育て支援施設 授乳室2箇所、おむつ交換所6箇所</p>						
経過	平成 元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務委託 平成 3年4月 全面リニューアルオープン 平成 18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成 20年2月 ふあふあ事故発生 平成 20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成 21年9月～平成 22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成 23年3月 11日、東日本大震災発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成 23年4月 指定管理者制度を廃止、子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成 23年5月 下町都電ミニ資料館オープン 平成 23年9月21日～ 大型遊具全機種について通常運行再開 平成 25年4月～ B地区子どもプールの有効活用策としてミニポート及び子ども縁日を開催						
必要性	荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 委託業務：遊戯施設運転・保守、入園案内、動物飼育、釣堀運営、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子供プール運営、キャラクターショー						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		103,304	326,989	294,024	284,635	300,605	303,952
①決算額（28年度は見込み）		103,304	289,201	274,441	274,624	280,219	289,766	358,464
②人件費等		3,401	44,482	43,746	28,676	27,112	29,193	
③減価償却費		1,133	31,100	32,270	23,998	21,944	24,915	
【事務分担当量】（%）		39	1,000	1,000	710	675	730	
合計（①+②+③）		107,838	364,783	350,457	327,298	329,275	343,874	358,464
特定財源の推移	国							
	都							
	その他		19,220	0	0			
一般財源		88,618	364,783	350,457	327,298	329,275	343,874	358,464
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	入園者数（総数[人]）	361,464	363,788	347,924	356,397	380,291	391,201	400,000
	子供プール（人）	27,474	20,727	30,519	31,341	25,133	25,730	30,000
	遊戯施設利用者数（千人）	1,186	1,071	1,317	1,300	1,361	1,409	1,420
	釣堀（人）	28,545	32,232	31,391	34,920	38,123	40,438	41,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	各種教室講師謝礼	2,401	需要費	光熱水費、食糧費、一般需要費	38,581	需要費	光熱水費、食糧費、一般需要費	43,312
需用費	事業用消耗品、印刷製本	11,906	委託料	樹木管理、浄化施設、地下駐車場業務委託	68,500	委託料	樹木管理、浄化施設、地下駐車場業務委託	76,506
需用費	光熱水費、管理用消耗品	41,186	報償費	各種教室講師謝礼	2,163	報償費	各種教室講師謝礼	2,623
需用費	動物広場小破修繕対応	4,480	需要費	動物・乗物広場小破修繕	12,132	需要費	動物・乗物広場小破修繕	11,102
役務費	プール水質検査	34	委託料	遊戯施設委託、動物飼育業務委託他	141,520	委託料	遊戯施設委託、動物飼育業務委託他	136,795
役務費	クリーニング代、行事保険	29	需要費	園内各設備小破修繕	9,797	需要費	園内各設備小破修繕	9,879
委託料	地下駐車場・清掃委託	69,747	工事請負費	高圧ケーブル改修工事他	12,526	工事請負費	浄化施設改修工事他	60,155

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 入園者数（人）	356,397	380,291	391,201	400,000	400,000	年間入園者総数
	② 遊戯施設利用者数（人）	1,299,397	1,361,219	1,409,252	1,420,000	1,420,000	大型遊具、小型遊具、ふあふあ遊具利用者
	③ プール利用者数（人）	31,341	25,133	25,730	30,000	30,000	子供プール利用者数

（問題点・課題分析）	① 安全安心の運営により重大事故ゼロを続けていくために、さらなる安全管理体制の強化を図る必要がある。
	② 園の魅力のさらなる向上のため、即時性のある情報提供のほか、多様なイベント等を実施していく必要がある。
他区の実況	③ 園の老朽化した施設を計画的に修繕・整備していく必要がある。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区） 23区唯一の区立遊園地

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	災害発生時の対応マニュアル、各サービスの運営方法及び施設・設備の再点検を行う。アンケート調査に基づきサービス改善を図る。	災害発生時のマニュアルを見直し、より円滑に非常時の対応がとれるようにした。また、利用客の意見に迅速に対応した。	日常的な点検を強化し、施設の不具合等に迅速に対応し利用者が安全に過ごせるよう、適正な維持管理に努めていく。
②	ホームページ等を活用して即時性のある情報提供に努め、来園者の増加に努める。	運行状況など即時性のある情報提供に努めた。また、全国連携事業、他団体の協力事業などにも積極的に協力し、利用者数拡大を図った。	即時性のある情報提供に努めるほか、全国連携事業の実施等により、園の魅力のさらなる向上及び利用者数の拡大を図る。
③	園内の建築物、設備、大型遊具のリニューアル等にかかる中長期的な改修計画を実施する。	荒川遊園事業推進協議会を発足し、今後の整備計画について、庁内における横断的な協議を進めた。	C地区改修、大型遊戯施設の更新計画について荒川遊園事業推進協議会での検討を踏まえて具体的な整備を進めていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川遊園は、荒川区が誇れる施設として、さらに維持管理や施設の充実を図り、子育て支援施設の拠点として事業展開していく。

況議 （要 質 問 状）	【H26・6月会議】	障がい者等の就労の職種拡大を図るべき
	【H26・9月会議】	観光資源として遊園を積極的に活用すべき
	【H27・9月会議】	休日、夏休みなど開園時間を延長すべき